

令和5年度 第2回鈴鹿市立加佐登小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和5年6月20日（火）9：30～10：40

2 場 所 加佐登小学校 少人数教室

3 あいさつ

（委員長より）梅雨で子どもは外で遊べない季節であるが外で見かけたときや、夏休み前でうきうきしている時こそ、町で見かけたら声掛けをお願いしたい。また学校関係者評価は年度末に評価を行うことにつながる事となる。

（学校長より）本日は委員の方に授業を参観して児童の様子を見ていただき忌憚のないご意見をたまわりたい。6年生はプールで水泳、4年生は市の廃棄物対策課に来ていただきごみ収集車を見た後理科室でごみの学習をしているので、参観してほしい。

第1回学校運営協議会以降の学校の様子は、「学校だより」を資料に入れてあるのでご覧いただきたい。6月16日島田さんにお世話になり5年生が田んぼ草取りをさせていただき貴重な経験をさせてもらっている。

4 授業参観 9：35～10：05

5 協議内容

（1）授業参観後の意見交流

- 学年に応じた子どもの姿で落ち着いて学習している様子を見ることができた。
- 低学年も姿勢よく、授業を楽しみにしているのが伝わってきた。
- 掲示物等乱れておらず整えられていてよい。
- 教室の机の配置は、昔は一斉に前を向いていたが、3人ほどで机を寄せ合う配置で学んでいた。驚いたが、よいことだと感じた。
 - 友達と意見交換をしたり、端末の作品を見せ合ったりする時このような机の配置にすることがある。
- プールが再開していて見せてもらった。改めて命を守る大切な学習だと感じた。
- 子どもはプールをとっても楽しみにしていた。汚かったプールをよくこんなにきれいにしてもらったと思う。
- プールで男子が上着（ラッシュガード）を着ていることに驚いた。
 - 着衣水泳ではなく、日焼け等の対策として着用する児童もいる。
- 例年プールの終了時期が早いように思う。梅雨で入れないことを考えると夏休みが始まるギリギリまで水泳期間を延ばせるとよい。
- 4年生のごみ博士の授業では、外部の方にパワーポイントを使って説明してもらったり、ごみ収集車を見せてもらったりして生の体験をしていた。子どもの興味が高まるので、できる限り取り入れていけるとよい。

- 5年生がろ過装置をつけてメダカを飼っている。自分たちで世話をしている。
- トイレのスリッパが整頓されていてよい。日頃の先生の指導の成果である。
- トイレの照明はついていていいのか、消してある方がいいのか。
→使用していないのであれば消してあるほうがよい。消すように指導をしていく。
- ゴミが落ちておらずきれいな環境である。
- 散らかりがちな準備室も掃除が行き届いている。家庭科準備室は特にきれいだった。
- ほとんどの子がマスクをしていない姿を見て、ようやくこの光景が見られるようになったと感じた。机を寄せて話し合っている授業の様子も見るができるようになりありがたい。まだマスクをしている子も外せるようになることを願う。
- 危険と思い学校側に伝えた、二宮金次郎と忠魂碑の入り口に早速子どもに分かりやすい表示がされていた。当たり前のように過ごしていると見過ごしてしまうことに目を向けることも必要である。

(2) 学校関係者評価書について 別紙「令和5年度学校関係者評価」参照
(学校長より説明)

- 昨年度から項目が変わっているのはなぜか。
→ 新学習指導要領になり4年目となったため、新学習要領に即した授業改善は進んできた。そのため「授業づくり」の項目と合わせて目標と指標を検討していくこととした。また、「一人ひとりに応じた指導・支援の体制づくり」は重なる部分が多いため2項目を合わせて1項目とした。
- 「安全教育」の「自分で工夫をする」とはどういうことを差すのか。
→ 災害の時、自分で考えて行動できるように教師引率の避難訓練だけでなく、休み時間等自分で考えて行動するよう様々な状況を想定した避難訓練を行っていく。

(3) その他

6 その他

- ・ 第3回学校運営協議会の日程は校医さんの都合で変更になる場合がある。

6 鈴鹿市教育委員会 より

欠席